



創刊にあたり

現在、原小学校及び西の原中学校の児童生徒数の増加に対応するため、令和11年4月の開校を目指し、新しい義務教育学校「(仮称)印西市立東の原義務教育学校」の整備を進めています。

「どのような学校にしていきたいか」、「子どもたちにどのような学びの場を届けたいか」を地域や保護者の皆さんと一緒に考える開校準備委員会がスタートしました。「東の原スクールニュース」では、話し合いの様子や学校づくりの進捗を、皆様にお伝えしていきます。

委員長・副委員長が決まりました



委員の互選により、委員長に加藤委員、副委員長に大滝委員が選出されました。

教育長あいさつ(要旨)

「行政が一方向的に形を整えるのではなく、皆様の思いや願いを持ち寄りながら学校づくりを進めることが重要です。単なる施設整備に留まらず、これからの時代にふさわしい地域とともに歩む学校にしていきたいと考えています。」

開校に向けた検討がスタート

教育委員会から開校準備委員会に対し、「(仮称)印西市立東の原義務教育学校の開校に関すること」について諮問が行われました。答申期限は令和11年3月31日となっています。

諮問事項

- (1)校名、校章、校歌、制服等に関する事項
- (2)通学路及び通学方法に関する事項
- (3)教育目標、教育課程に関する事項
- (4)その他開校に必要な事項

学校づくりの考え方と検討内容

新しい学校は、「**学びのスタイルへの対応**」、「**地域・防災への対応**」、「**教育環境への対応**」の3つを基本方針として整備を進めています。

年度	主な検討マイルストーン
R8年度	学校名、教育目標の方向性、通学路の検討
R9年度	新制服・体操服の選定、校歌の作成
R10年度	新しい校則(生活規律)の策定・最終調整

みんなで理想の学校を考えました

「義務教育学校の未来を考えよう」をテーマにグループワークを行いました。委員の皆さんからは、多くの意見やアイデアが出され、活発な話し合いとなりました。

出された主な意見・アイデア

- ・ 学習:9年間を見通した一貫教育、小5からの教科担任制、異学年交流を活かした学び
- ・ 生活:学年を超えて安心して楽しく通える居場所(フリースペース等)の整備
- ・ 地域:地域人材の活躍、防災拠点としての高機能化、地域に開かれた学校



これからの 予定

次回の第2回開校準備委員会は10月上旬頃を予定しています。

委員会で話し合われた内容は、このおたよりを通じてお伝えしていきます。